

赤潮・貧酸素情報（1）

平成28年7月1日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター
豊前海研究所長

7月1日に有害プランクトン調査を行った結果、人工島沖及び苅田航路北側で有害プランクトンのカレニア・ミキモトイの赤潮が確認されています。

< 有害プランクトンの状況 >

- 人工島沖でカレニア・ミキモトイの赤潮（表層で海水1ml中に2,600細胞）により、着色が認められます。
- カレニア・ミキモトイは、数～数千細胞で魚介類に被害を及ぼします。
- 本種は、増殖初期は中層（主に5m層前後）で増殖する性質を持っていますので、海面からの観察では海水の着色が判別しにくい種類です。
- 帰港中、着色海域で漁獲後の魚介類が活け間内でへい死することもありますので、着色海域付近ではスカッパを閉めて航行するなど注意して帰港してください。

< 貧酸素の状況 >

- 現在、貧酸素（酸素濃度30%以下）は発生していませんが、調査した海域の底層では酸素濃度50%以下になっていますので今後の情報にご注意ください。

< 今後の状況 >

- 晴天が続いた場合、赤潮の発生や継続、その後、貧酸素の発生の恐れがあります。
- 中層で増殖する性質があるため、海面で着色していなくても魚介類のへい死を起こすことがありますので、影響を回避するために、漁獲後、早めの出荷をお願いします。
- 研究所では引き続き調査を実施しますので、今後の情報に十分ご注意下さい。

※漁業被害、海面の着色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当:俵積田、野副)までご連絡下さい。

7/1調査結果

番号	採水場所	採水層 (m)	水温 (°C)	塩分 (psu)	DO (%)	カネア・ミキトイ (細胞数/海水1ml)
①	人工島沖	0	23.5	29.68	141.82	2,600
		5	22.7	31.15	99.16	900
		B-1	22.4	22.02	43.05	700
②	苅田航路北側	0	23.7	28.62	149.39	640
		5	22.6	30.97	82.22	360
		B-1	22.6	30.84	41.17	150

